平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月13日

上場会社名 日華化学株式会社　　上場取引所　名
コード番号 4463　URL http://nicca.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 江守 康昌
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員管理部門副部門長　(氏名) 澤崎 祥也　TEL 0776-24-0213

四半期報告書提出予定日　平成26年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	9,554	―	916	―	877	―	591	―
25年12月期第1四半期	13,775	―	1,268	―	1,405	―	934	―

(注)包括利益　26年12月期第1四半期　193百万円　(―%)　25年12月期第1四半期　2,292百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	33.61	―
25年12月期第1四半期	53.08	―

当社は、平成25年6月25日に開催されました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成25年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また、3月決算の連結子会社も12月決算に変更しております。これらに伴い、平成25年12月期第1四半期は、当社及び3月決算であった連結子会社につきましては平成25年4月1日から平成25年6月30日の3ヶ月間を、従来からの12月決算の連結子会社等につきましては平成25年1月1日から平成25年6月30日の6ヶ月間を連結対象期間としており、平成26年12月期第1四半期は、当社及びすべての連結子会社等について、平成26年1月1日から平成26年3月31日までの3ヶ月間を連結対象期間としております。このため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

〔参考〕
連結対象期間を3ヶ月(平成25年1月1日から平成25年3月31日)とした前第1四半期業績に対する当第1四半期業績の増減率は、売上高18.5%、営業利益193.5%、経常利益135.0%、四半期純利益268.8%であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	40,195	18,903	40.8	932.08
25年12月期	40,774	18,984	40.1	929.40

(参考)自己資本　26年12月期第1四半期　16,398百万円　25年12月期　16,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	―	6.00	―	10.00	16.00
26年12月期	―				
26年12月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月 1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	―	3,000	―	3,100	―	2,250	―	127.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

前連結会計年度は、当社及び3月決算であった連結子会社につきましては平成25年4月1日から平成25年12月31日の9ヶ月間を、従来からの12月決算の連結子会社等につきましては平成25年1月1日から平成25年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としております。このため、対前期増減率は記載しておりません。
なお、第2四半期累計期間の業績予想は行っておりません。

〔参考〕
当社及び3月決算であった連結子会社並びに従来から12月決算の連結子会社等の平成25年1月1日から平成25年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間とした業績に対する平成26年12月期通期連結業績予想の増減率は、売上高10.0%、営業利益△0.7%、経常利益△8.6%、当期純利益△18.4%であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	17,710,000 株	25年12月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	116,632 株	25年12月期	115,771 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	17,593,583 株	25年12月期1Q	17,597,650 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する情報 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等) …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	四半期純利益（百万円）
平成26年12月期第1四半期連結累計期間	9,554	916	877	591
（参考）前年同一期間　※1	8,059	312	373	160
調整後増減率　※1	18.5%	193.5%	135.0%	268.8%
平成25年12月期第1四半期連結累計期間　※2	13,775	1,268	1,405	934

※１（参考）「前年同一期間」の金額は、当第１四半期連結累計期間（平成26年１月１日から平成26年3月31日まで）に対応する前年の同一期間（平成25年１月１日から平成25年3月31日まで）であり、「調整後増減率」はこれに対する当第１四半期連結累計期間の増減率を記載しております。

以下、増減については、この「前年同一期間」との比較で記載しております。

※２　平成25年12月期第１四半期連結累計期間は、当社及び３月決算であった連結子会社は平成25年４月１日から平成25年６月30日までの３ヶ月間を、12月決算の連結子会社等は平成25年１月１日から平成25年６月30日までの６ヶ月間を連結対象期間としておりました。

当第１四半期連結累計期間（自　平成26年１月１日　至　平成26年３月31日）におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした政策効果を背景に景況感が改善し、個人消費においても持ち直しの動きが見られたものの、消費税増税による消費低迷や新興国経済の成長鈍化の影響が懸念される等、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は95億５千４百万円（前年同一期間比18.5%増）、営業利益は９億１千６百万円（同193.5%増）、経常利益は８億７千７百万円（同135.0%増）、四半期純利益は５億９千１百万円（同268.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

	売上高			セグメント利益		
	第1四半期連結累計期間		調整後増減率（%）	第1四半期連結累計期間		調整後増減率（%）
	（参考）前年同一期間（百万円）	平成26年12月期第1四半期（百万円）		（参考）前年同一期間（百万円）	平成26年12月期第1四半期（百万円）	
化学品	6,425	7,519	17.0	318	733	130.2
化粧品	1,634	2,034	24.5	297	516	73.6
合計	8,059	9,554	18.5	616	1,249	102.9

① 化学品事業

売上高は75億１千９百万円（同17.0%増）、セグメント利益は７億３千３百万円（同130.2%増）となりました。

海外では、韓国におけるフッ素化学品の販売拡大や中国における大型案件の採用など、東南アジア地区において繊維加工用薬剤が好調に推移し売上高は大きく伸張しました。国内では、機能加工向けの繊維加工用薬剤や業務用洗剤が好調に推移し、売上高は増加しました。

② 化粧品事業

売上高は20億３千４百万円（同24.5%増）、セグメント利益は５億１千６百万円（同73.6%増）となりました。

美容サロン業界においては２月の大雪や３月の増税前駆け込み需要等により、業界全体の短期業績が激しく振れる中、デミコスメティクス「ヘアシーズンズ アロマシロップス」、イーラル株式会社「イーラル オム プライム」など新商品の好調に加え、山田製薬株式会社「アンサージュ」、DEMI KOREA CO., LTD.等の海外展開等多角化事業も高成長し、売上高は増加しました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、５億７千９百万円減少し、401億９千５百万円となりました。現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少及び有形固定資産の減少等により、総資産は減少しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、４億９千７百万円減少し、212億９千２百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加、その他流動資産の減少及び長期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、８千１百万円減少し、189億３百万円となりました。利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少及び少数株主持分の減少が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の40.1%から40.8%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年２月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,248,130	5,908,140
受取手形及び売掛金	9,263,029	8,195,702
商品及び製品	2,469,456	2,399,654
仕掛品	700,415	695,051
原材料及び貯蔵品	2,600,543	2,913,799
その他	942,971	1,088,414
貸倒引当金	△58,855	△53,588
流動資産合計	21,165,692	21,147,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,072,167	6,767,029
機械装置及び運搬具（純額）	2,735,527	2,510,168
土地	5,814,010	5,744,227
その他（純額）	675,673	836,715
有形固定資産合計	16,297,378	15,858,140
無形固定資産		
のれん	307,811	286,893
その他	587,808	660,845
無形固定資産合計	895,619	947,739
投資その他の資産	2,415,952	2,242,524
固定資産合計	19,608,950	19,048,405
資産合計	40,774,643	40,195,580

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,079,895	4,030,074
短期借入金	7,016,482	7,304,861
未払法人税等	392,196	519,472
賞与引当金	243,500	250,500
その他	2,458,195	2,208,561
流動負債合計	14,190,270	14,313,469
固定負債		
長期借入金	4,112,443	3,466,586
退職給付に係る負債	2,559,630	2,584,020
その他	927,399	928,371
固定負債合計	7,599,473	6,978,978
負債合計	21,789,743	21,292,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	10,173,714	10,589,099
自己株式	△49,677	△50,507
株主資本合計	16,062,832	16,477,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,675	200,999
為替換算調整勘定	267,779	△104,215
退職給付に係る調整累計額	△185,235	△175,695
その他の包括利益累計額合計	289,219	△78,911
少数株主持分	2,632,847	2,504,656
純資産合計	18,984,899	18,903,131
負債純資産合計	40,774,643	40,195,580

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年３月31日）
売上高	13,775,917	9,554,713
売上原価	9,315,964	5,998,402
売上総利益	4,459,953	3,556,311
販売費及び一般管理費	3,191,785	2,639,672
営業利益	1,268,167	916,639
営業外収益		
受取利息	4,379	13,841
受取配当金	17,392	12,747
持分法による投資利益	47,645	18,910
為替差益	92,910	－
その他	72,759	50,916
営業外収益合計	235,086	96,416
営業外費用		
支払利息	55,750	26,541
為替差損	－	41,941
売上割引	21,817	21,288
その他	20,282	46,036
営業外費用合計	97,850	135,807
経常利益	1,405,404	877,248
特別利益		
固定資産売却益	4,768	162,849
特別利益合計	4,768	162,849
特別損失		
固定資産除却損	234	697
固定資産売却損	459	－
投資有価証券評価損	886	－
ゴルフ会員権評価損	－	510
減損損失	63,598	－
特別損失合計	65,178	1,207
税金等調整前四半期純利益	1,344,994	1,038,890
法人税等	329,582	389,824
少数株主損益調整前四半期純利益	1,015,412	649,065
少数株主利益	81,370	57,738
四半期純利益	934,041	591,327

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,015,412	649,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,039	△5,676
為替換算調整勘定	1,271,529	△459,887
退職給付に係る調整額	―	9,539
その他の包括利益合計	1,277,568	△456,024
四半期包括利益	2,292,981	193,041
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,950,038	223,195
少数株主に係る四半期包括利益	342,942	△30,154

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	11,634,099	2,141,818	13,775,917	13,775,917
セグメント間の内部売上高又は振替高	48	599	648	648
計	11,634,148	2,142,417	13,776,566	13,776,566
セグメント利益	995,864	584,158	1,580,022	1,580,022

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,580,022
セグメント間取引消去	3,948
全社費用（注）	△315,803
四半期連結損益計算書の営業利益	1,268,167

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について遊休資産にグルーピングを行い、当該資産の帳簿価額を回収可能価格まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第１四半期連結累計期間においては、63,598千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　平成26年１月１日　至　平成26年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,519,927	2,034,786	9,554,713	9,554,713
セグメント間の内部売上高又は振替高	480	3,072	3,552	3,552
計	7,520,408	2,037,858	9,558,266	9,558,266
セグメント利益	733,356	516,400	1,249,757	1,249,757

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,249,757
セグメント間取引消去	2,448
全社費用（注）	△335,566
四半期連結損益計算書の営業利益	916,639

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。